

# 留学生の日本語作文に見られる誤り

—単一文の場合—

村 田 明

キーワード：誤り類型

## 要旨

留学生の日本語作文に見られる誤りを分析することによって、日本語表現の特徴を明らかにできる場合がある。この観点から、留学生に作文課題を与えて、提出された生資料を対象とした誤り類型の確立と資料分析、日本語表現の特徴についてのサンプル研究、留学生への日本語指導のための基礎資料作成法の試みをおこなう。

## 1. 研究の目的

村田(2001)でおこなった留学生の日本語作文に見られる誤り分析では、以下の誤り類型を設定した。

- (1) 語彙の誤り、文法の誤り、表現の誤り
- (2) 母語や以前に習った外国語の干渉、それまでに習った日本語の事項の影響、不十分な理解、不十分な説明、類推のはずれ、考えすぎ
- (3) 「は」と「が」の誤り、表現に関する誤り、格助詞の誤り、構文の誤り、語句の接続に関する誤り、可能・欲求表現に関する誤り、授受・使役・受身に関する誤り・条件に関する誤り、アスペクトに関する誤り、呼応・文体の不一致

得られた資料を日本語の特徴や日本語指導の研究に活用する際に、誤り類型を細かく設定することによって、より正確な成果が得られると思われた。しかしながら、実際に個々の誤り例を、設定した類型に分類する作業は研究者の恣意的な判断(独断)によるが多かった。分類作業に正確を期するためには、誤りの原因を特定する指標となる客観的基準がなければならない。このような客観的基準を決めるためには、誤り分析の長期にわたる経験に基づく日本語の特徴に対する深い洞察力が必要である。

本研究の目的は、日本語の特徴や日本語指導の研究に活用できる日本語作文の誤り分析の方法論の確立に向けての基礎研究を行うことである。

## 2. 資料収集

### 2.1 誤り類型

村田(2001)では、(1)(2)(3)の誤り類型の中で次の3種の誤りが、留学生の作文に特に多く見出された。

- (4) 表現の誤り
- (5) 構文の誤り
- (6) 語句の接続に関する誤り

したがって、今回の研究では主に(4)(5)(6)の誤りを中心に、(7)に示すように誤り類型を階層化する。

- (7) I. 文法の誤り
  - a. 助詞の誤り
  - b. 語句の接続の誤り
  - c. 活用語の誤り
- II. 内容の誤り
  - a. 綴りミス
  - b. 語の選択の誤り
  - c. 単一文としてはぎこちない

(7) 誤 自然資源をみだりに利用すると、騒音や自然災害など人類の生存環境によくない面がたくさんある。

正 自然資源をみだりに利用すると、騒音や自然災害など人類の生存環境によくない面がたくさん引き起こされる。

(7)の下線部にみられるような誤りは、より適切な内容をもつ語を選択するべきであるという作文法上の誤りと考えて、それを内容の誤りとし、この場合は語の選択の誤りに下位分類する。

村田(2001)では、文法の誤りと表現の誤りを別の類型として設定したが、次例に示すような誤りは、表現の誤りであるとともに文法の誤りであるとも考えられる。

(8) 誤 少なくなる食糧がまったく避けられない。

正 食糧が少なくなる事態をまったく避けることができない。

文法の誤りの大分類の下位類として語句の接続の誤りという項目を設定し、(8)はこの誤り類型に属するものとする。

## 2.2 課題表現作文

今回の誤り分析には、日本語の特徴の研究のための基礎資料を作るという目的が含まれている。この目的を視野に入れると、留学生に自由に作文させるよりも、研究対象の日本語表現を指定して作文させたほうが有益な資料が得られるであろう。留学生には次のような課題を与えて作文させた。

(9) 次の慣用句や文型を使って文を一つ作りなさい。

(i) 仕事をこなす

(例) 与えられた仕事をこなすだけなら簡単だ。

(ii) ～とされてきた

(例) サラリーマンは上司の命令に黙って従うものとされてきた。

(iii) いうまでもない

(例) 教師の指示に従わなければならないことはいうまでもない。

(iv) ～だけに

(例) 影響が大きいだけに慎重でなければならない。

課題表現それぞれに例文をつけたのは、留学生が課題表現の意味を容易に理解できるようにするためと課題表現の意味的あいまい性を取り除くためである。(iv)の「～だけに」は、「彼だけに与える」の「だけに」とは異なる。

単一文課題であるために、提出された作文には文脈的にあいまいなものの出現が予想される。そのあいまい性が、その文を単一文としてはぎこちなく完全には許容できない原因になっている場合には、その誤りは誤り類型のIIc(内容の誤り(単一文としてはぎこちない))に分類される(詳しくは4.1節を参照)。

### 3. 資 料

表1 誤り添削

留 学 生	誤り添削	誤り類型
	仕事をこなす	
イ	誤 仕事をこなすため、いろいろな努力が必要 <u>がある</u> 。 正 仕事をこなすため、いろいろな努力が必要 <u>である</u> 。	1a
ロ	○ 田中先生のレポートをこなすだけで、死にそうである。	
ハ	誤 <u>現在、私がしている仕事をこなすようになるまで約10年もかかった。</u> 正 <u>現在の仕事をこなせるようになるまで約10年もかかった。</u>	1b, 11c
ニ	○ 学生は勉強をこなすだけで精一杯です。	
ホ	○ 高校に入ると宿題をこなすだけで限界です。	
ヘ	○ 毎週のスポーツの授業、練習をこなすだけで精一杯です。	
ト	誤 <u>サリマンは毎日一生けんめいに仕事をこなす。</u> 正 <u>サラリーマンは毎日一生けんめいに仕事をこなす。</u>	11a
チ	○ サラリーマンにとって、仕事をこなすのは当然のことです。	
リ	誤 毎日、父親が一生懸命仕事をこなしているし、家庭でも、父親として子供を <u>育つ義務を履行している</u> 。 正 毎日、父親が一生懸命仕事をこなしているし、家庭でも、父親として子供を <u>育てる義務を果たしている</u> 。	1c, 11b
ヌ	○ レポートが多くて、それをこなすのに精一杯です。	
ル	○ あの人は、その職に就いてもう10年というのに、まだ自分の仕事もろくにこなせない。	
ヲ	誤 <u>能力強めに本人分仕事をこなした。</u> 正 <u>能力以上に自分の仕事をこなした。</u>	11b, 11b
ワ	誤 彼は毎日遊んでばかり、仕事を <u>こなさない</u> ので、首にされた。 正 彼は毎日遊んでばかり、仕事を <u>しない</u> ので、首にされた。	11b
カ	誤 十年間この会社で働いてきた彼の <u>ことだから、仕事をこなして早く終わるのは簡単のことだ</u> 。 正 十年間この会社で働いてきた彼の <u>ことだから、仕事をうまくこなして早く終わるのは簡単なことだ</u> 。	1b, 1c
ヨ	誤 毎日、慣れた仕事を <u>こなして書っている</u> 。 正 毎日、慣れた仕事 <u>なので、うまくこなして報告している</u> 。	1b, 11b
タ	誤 <u>学生はペンキようをまじめにすることが仕事をこなすことだ</u> 。 正 <u>学生にとって仕事をこなすとは、勉強をまじめにすることだ</u> 。	1b
レ	○ 昇進するために仕事をこなすことは、一番大事な <u>ことだ</u> 。	
ソ	○ 女性は仕事をこなすだけではなく、家の面倒も見なければならぬから、たいへんです。	
ツ	誤 人によって仕事をこなす能力を <u>違う</u> 。 正 人によって仕事をこなす能力は <u>違う</u> 。	1a
ネ	○ 仕事をこなすには、とても時間がかかる。	
ナ	誤 彼は仕事にまじめであり、与えられた仕事をこなす <u>まで</u> にいいかげんにしません。 正 彼は仕事にまじめであり、与えられた仕事をこなす <u>まで</u> はいいかげんにしません。	1a
ラ	○ 社長から与えられた仕事をこなすために、毎日、一生懸命頑張っています。	
ム	○ 会社から与えられた仕事をこなすために、毎日、残業して、ついに身体が壊れてしまっ	

ウ	誤 転校についての <u>仕事</u> をこなすだけで精一杯でした。 正 転校についての <u>手続き</u> をこなすだけで精一杯でした。	11b
ノ	誤 将来、どんな仕事をこなすかどうかまだ分かりません。 正 将来、どんな仕事を <u>する</u> かどうかまだ分かりません。	11b
オ	○ 最近、人員不足のため、彼は残業をしながら一人で仕事をこなしている。	
ク	誤 留学生にとって、 <u>授業の内容</u> をこなすだけで大変です。 正 留学生にとって、 <u>授業</u> をこなすだけで大変です。 正 留学生にとって、 <u>授業の内容を理解する</u> だけで大変です。	1b
	～とされてきた	
イ	誤 <u>組織的にリーダーのパワ</u> は、 <u>専門力</u> 及ぶ <u>同一力</u> であるとされてきた。 正 <u>組織のリーダーの指導力</u> も、 <u>一種の専門的技術</u> であるとされてきた。	1a, 11b
ロ	○ 学生は勉強をがんばるべきであるとされてきた。	
ハ	誤 韓国では、 <u>ガラス</u> は不吉な動物であるとされてきた。 正 韓国では、 <u>からす</u> は不吉な動物であるとされてきた。	11a
ニ	○ 発音がすこしおかしくて外国人とされてきた。	
ホ	誤 <u>仕事をすると成人になる</u> であるとされてきた。 正 <u>成人になると仕事を</u> するのは当然であるとされてきた。	1b
ヘ	○ 男性の幸福は、好きな女の子と結婚して素晴らしい仕事を持つことであるとされてきた。	
ト	誤 学生の幸福は、 <u>大学を合格</u> することであるとされてきた。 正 学生の幸福は、 <u>大学に合格</u> することであるとされてきた。	1a
チ	誤 人生の意味は自分なりの目標を達成できるとされてきた。 正 人生の意味は自分なりの目標を達成 <u>すること</u> にあるとされてきた。	1b
リ	○ 昔から、学生の天職は一生懸命に勉強することとされてきた。	
ヌ	誤 <u>小供は大人のことに口をだしてはいけない</u> のだとされてきた。 正 <u>子供は大人のことに口をだしてはいけない</u> のだとされてきた。	1a
ル	○ 子供は大人のことに口をだしてはいけないのだとされてきた。	
ヲ	○ 張君は、良い子であるとされてきた。	
ワ	○ 男性にとって、一番重要なのは事業だとされてきた。	
カ	○ 信大食堂の食べ物はまずいとされてきた。	
ヨ	誤 男性の成功は、 <u>幸せな家と偉い仕事</u> を持つことであるとされてきた。 正 男性の成功は、 <u>幸せな家と高い地位</u> を持つことであるとされてきた。	1a, 1b
タ	○ 男性の能力は、今まで経済力であるとされてきた。	
レ	誤 人の成功は、人に尊敬されること、 <u>家族が幸せ</u> することとされてきた。 正 人の成功は、人に尊敬されること、 <u>家族が幸せである</u> こととされてきた。	1c
ソ	誤 <u>父の望み</u> は子供がすくすく成長することであるとされてきた。 正 <u>父親が一番望む</u> ことは子供がすくすく成長することであるとされてきた。 正 <u>父の望み</u> は子供がすくすく成長することであると <u>思われて</u> きた。	11b
ツ	誤 <u>人材の育成</u> できるために学校は <u>重要な</u> 角色とされてきた。 正 <u>人材育成の観点から</u> 学校は <u>重要な制度</u> とされてきた。	1b, 1c, 11a
ネ	誤 本当の大学生は、 <u>いつまでも</u> 自分の主張を持つことであるとされてきた。 正 本当の大学生は、 <u>いつも</u> 自分の主張を持つことであるとされてきた。	11c
ナ	誤 男性の幸福は、 <u>一人</u> やさしく <u>親切である妻</u> がいるとされてきた。	11b, 11c, 1b

ラ	正 男性の幸福は、やさしく親切な妻がいることであるとされてきた。 ○ 男性の幸福は、いい仕事をして、いい女性と結婚して、賢い子を持つことであるとされてきた。	
ム	誤 日本の社会で、いい会社に <u>入れるのは、いい大学を卒業することであるとされてきた。</u> 正 日本の社会で、いい会社に <u>入る必要条件は、いい大学を卒業することであるとされてきた。</u>	1b
ウ	正 日本の社会で、いい会社に <u>入れるのは、いい大学を卒業した人であるとされてきた。</u> 誤 最近パソコンはとても便利とされてきた。 正 最近パソコンはとても便利 <u>であると思われる。</u>	1b, 11c
ノ	誤 <u>世界人民の幸福は、世界の平和であるとされてきた。</u> 正 <u>世界中で、幸福は、平和を築いて実現されるとされてきた。</u>	1b, 11b
オ	○ 長い間、社会生活での女性の主な役割は、家事をすることであるとされてきた。	
ク	○ 成績がよい学生は優秀だとされてきた。	
イ	いうまでもない ○ 優秀なリーダーの存在は企業の成功に大きな役割を果たしていることはいうまでもない。	
ロ	○ 田中さんの英語はいうまでもなく上手である。	
ハ	○ 子供が自分の両親を扶養しなければならないことはいうまでもない。	
ニ	誤 単位をよく取るためにはよく勉強することはいうまでもない。 正 単位をよく取るためにはよく勉強 <u>しなければならない</u> ことはいうまでもない。	1b
ホ	○ 病気の時、正しい薬を選ばなければならないことはいうまでもない。	
ヘ	誤 <u>人生の幸せ</u> というは、好きな人と一緒というまでもない。 正 <u>幸は、好きな人と一緒になることである</u> ことは、いうまでもない。	11b, 1b
ト	誤 <u>大学卒業</u> しても、よい人材であることはいうまでもない。 正 <u>大学卒業生は、よい人材である</u> ことはいうまでもない。	11b
チ	誤 <u>結婚すれば、男にとって、家族を養える</u> ことはいうまでもない。 正 <u>結婚すれば、男が、家族を養わなければならない</u> ことはいうまでもない。 正 <u>結婚するためには、男が、家族を養えなければならない</u> ことはいうまでもない。	1b
リ	○ そんな簡単な道理、いうまでもない。	
ヌ	○ これからは英語が今以上に大切になってくることはいうまでもない。	
ル	誤 学生が勉強に <u>がんばらなければいけない</u> ことはいうまでもない。 正 学生が勉強を <u>がんばらなければいけない</u> ことはいうまでもない。	1a
ヲ	○ 張さんは良い成績がとれることはいうまでもない。	
ワ	誤 <u>知識を勉強</u> するにはアメリカに行かなければならないことはいうまでもない。 正 <u>勉強するにはアメリカに行かなければならない</u> ことはいうまでもない。 正 <u>知識を深めるにはアメリカに行かなければならない</u> ことはいうまでもない。	11b
カ	誤 <u>簡単</u> なことだから、いうまでもない。 正 <u>簡単なこと</u> だから、いうまでもない。	1a
ヨ	○ 有名大学に入れるには、入試成績がよくなければならないことはいうまでもない。	
タ	誤 人に本能的な欲求がないというのは嘘だ <u>という</u> ことはいうまでもない。 正 人に本能的な欲求がないというのは嘘だ <u>ということ</u> はいうまでもない。	1b
レ	誤 中国ではいい仕事を探す時、大学の学歴が <u>必要</u> なければならないことはいうまでもない。 正 中国ではいい仕事を探す時、大学の学歴が <u>重要</u> であることはいうまでもない。	1b

ソ	○ 留学生の生活が苦しいことはいうまでもない。	
ツ	誤 現在は <u>たんさん食べるがよくなければならぬ</u> ことはいうまでもない。 正 現在は <u>たくさん食べるのはよくない</u> ことはいうまでもない。	1b
ネ	○ いうまでもなく、だれでも楽しく生活していきたい。	
ナ	誤 大学に <u>入れた人は毎日勉強ばかりしている</u> ことはいうまでもない。 正 大学に <u>入った人は毎日勉強しなければならぬ</u> ことはいうまでもない。	1c, 11c
ラ	○ 奨学金をもらえるには成績がよくなければならぬことはいうまでもない。	
ム	誤 授業料 <u>免除や奨学金などを持つことができるのは成績がよくなければならぬ</u> ことはいうまでもない。 正 授業料 <u>免除や奨学金などを受けるためには成績がよくなければならぬ</u> ことはいうまでもない。	11a, 11b
ウ	誤 金銭は最も <u>重要</u> のことはいうまでもない。 正 金銭は最も <u>重要である</u> ことはいうまでもない。	1c
ノ	○ 富士山は日本の象徴であることはいうまでもない。	
オ	○ 来日して三年間、一度も家に帰ったことがないから、家族に会いたいのはいうまでもない。	
ク	誤 彼は10万円しか持っていないから、 <u>車を買う</u> のはいうまでもないだろう。 正 彼は10万円しか持っていないから、 <u>車を買えない</u> のはいうまでもないだろう。	1b
イ	～だけに ○ 部下の自立度が低いだけに、リーダーはタスク達成を目標として行動しなければならない。	
ロ	誤 英語がしゃべれる <u>だけに</u> 、就職できない。 正 英語がしゃべれる <u>だけでは</u> 、就職できない。	11b
ハ	誤 お互いに <u>愛していることだけに</u> 、結婚するのはできない。 正 お互いに <u>愛しあっているだけでは</u> 結婚できない。	1b
ニ	誤 <u>バイトをしないと生活がむずかしいだけに、学校の勉強とともにバイトをしなければならぬ</u> 。 正 <u>バイトをしないと生活がむずかしいだけに、学校の勉強がたいへんだ</u> 。 正 <u>生活がむずかしいだけに、学校の勉強とともにバイトをしなければならぬ</u> 。	1b
ホ	○ 雨が多いだけに、今年がよい年になる。	
ヘ	誤 息子の <u>ためだけに</u> 、喫煙を止めなければならない。 正 息子の <u>ために</u> 、喫煙を止めなければならない。 正 息子の <u>ためにだけでなく</u> 、喫煙を止めなければならない。	11b, 11a
ト	誤 学生の <u>将来だけに</u> 、先生は真剣に教育をしなければならない。 正 学生の <u>将来がかかっているだけに</u> 、先生は真剣に教育をしなければならない。	1b
チ	誤 今回の失敗が <u>たいしたことではないだけに</u> 、落ち込む <u>する必要がない</u> 。 正 今回の失敗が <u>たいしたことではないだけに</u> 、落ち込む <u>必要がない</u> 。	1b
リ	誤 学生が <u>一生懸命に勉強するだけに</u> 、 <u>親孝行をしなければならぬ</u> 。 正 学生は <u>一生懸命に勉強するだけでなく</u> 、 <u>親孝行も</u> しなければならない。	1a, 1b
ヌ	誤 <u>気温が下がるだけに</u> 、 <u>それに供なう光熱費は高くなるのである</u> 。 正 <u>光熱費が高いだけに</u> 、 <u>気温が下がるのはいやだ</u> 。 正 <u>気温がひどく低くなってきただけに</u> 、 <u>光熱費が高くなるのはしかたがない</u> 。	1b

ル	誤 貯金が増えていく <u>だけに</u> 、幸も増していく。	11b
	正 貯金が増えていく <u>だけで</u> 、幸も増していく。	
	正 貯金が増えていく <u>とともに</u> 、幸も増していく。	
ヲ	誤 <u>学生さんは留年にならないだけにみんな「A」あげろ</u> う。	11b, 11a
	正 <u>学生さんが留年しないようにみんなに「A」をあげよう</u> 。	
ワ	誤 国民に注目されている <u>だけに</u> 、首相は自分の <u>形象</u> に気をつけなければならない。	11b
	正 国民に注目されている <u>だけに</u> 、首相は自分の <u>行動</u> に気をつけなければならない。	
カ	○ 頭のいい彼 <u>だけに</u> 、こんなこというまでもない。	
ヨ	誤 発泡酒の <u>税料を引き上げる</u> のは、 <u>国民反映</u> 大きい <u>だけに</u> 慎重でなければならない。	11b, 1c, 1a, 11b
	正 発泡酒の <u>税金を引き上げる</u> のは、 <u>国民の反対</u> が大きい <u>だけに</u> 慎重でなければならない。	
タ	誤 ビザがないという <u>事実</u> だけに、その人を無視するのは正しくないことだ。	1a
	正 ビザがないという <u>事実</u> で、その人を無視するのは正しくないことだ。	
レ	○ 苦勞 <u>だけに</u> 喜びも大きい。	
ソ	○ 天気が寒い <u>だけに</u> いっぱい運動しなければならない。	
ツ	誤 <u>留学生活への幸い</u> だけに、 <u>なんの事でも</u> 慎重でなければならない。	1b
	正 <u>留学生活の成功</u> がかかっている <u>だけに</u> 、 <u>どんな事でも</u> 慎重でなければならない。	
	正 <u>留学生活の成功</u> がかかっている <u>だけに</u> 、 <u>何事にも</u> 慎重でなければならない。	
ネ	誤 <u>そもそも帰国すること</u> だけに、十分に楽しめる。	1b, 11b
	正 <u>夏休みは帰国</u> できるだけ、十分に楽しめる	
	正 <u>帰国</u> できるだけ、十分に楽しめる	
ナ	誤 経済が悪く <u>き</u> ただけに、失業率がふえる。	1b
	正 経済が <u>悪い</u> だけに、失業率がふえる。	
	正 経済が悪く <u>な</u> ってきた <u>だけ</u> に、失業率がふえる。	
ラ	○ お金がないと、生活は困る <u>だけ</u> に、一生懸命働かなければならない。	
ム	○ 沖縄は日本の一番南の所 <u>だけ</u> に桜の開花も早い。	
ウ	誤 <u>経済危機への影響</u> が大きい <u>だけ</u> に、 <u>節約</u> でなければならない。	11c
	正 <u>経済危機の影響</u> が大きい <u>だけ</u> に、 <u>節約</u> しなければならない。	
ノ	○ 日本は経済が強い <u>だけ</u> に留学することになりました。	
オ	○ 忙しい日々が続く <u>だけ</u> に体に気を付けなければならない。	
ク	誤 <u>大学の学費</u> だけに、 <u>大変</u> 両親に負担をかける。	1b
	正 <u>大学の学費</u> だけに、 <u>両親</u> にかかる負担は <u>大変</u> だ。	

注 誤り類型欄中の斜体字については、4.2節を参照

## 4. 誤り分析

誤り総数 84

### 4.1 誤りの類型

誤りの種類別に合計した誤り数を表2に示す。

表2 誤り類型別誤り数

誤り類型	I a	I b	I c	II a	II b	II c
誤り数	12	31	7	6	22	6

語句の接続の誤り（I b）、語句の選択の誤り（II b）が目立って多い。これは、ある表現を教える際にその表現の意味を示すだけでは不十分で、より自然な言い回しをもあわせて紹介すべきであることを示していると思われる。たとえば、ハによる「仕事をこなす」を使った作文には「仕事をこなすようになるまで」という言い回しが使われている。これでも意味的には十分正しい表現であるが、「仕事をこなせるようになるまで」としたほうがより自然な言い回しになるであろう。

この誤り例には、さらに、日本語における主語のあいまい性に関して注意すべき点がある。

- (10) a. 仕事をしている。  
b. 私は仕事をしている。  
c. 私が仕事をしている。  
d. 私はしている仕事をこなせるようになるまで10年もかかった。  
e. 私がしている仕事をこなせるようになるまで10年もかかった。  
f. している仕事をこなせるようになるまで10年もかかった。  
g. \*私はしている仕事  
h. 私がしている仕事  
i. 現在の仕事

文脈から主語が予想される場合には(10a)のように主語を表現しないのが普通で、(10b)、(10c)はそれぞれ、たとえば、次のような疑問文の応答として適切な文である。

- (11) a. 太郎は本を読んでいる。あなたは何をしていますか。  
b. 誰が仕事をしていますか。

ここで問題なのは、「仕事をこなす」を使った作文で、仕事をこなすのは誰かということで

ある。仕事をこなしているのは(10d)では「私」であるが、(10e)では文脈によってさまる。その理由は、(10g)のような関係節は不可で、この関係節の主語を明示する場合は(10h)のようにしなければいけないからである。(10e)においては仕事をしているものが文脈によって決まるのであるが、それが「私」である場合は(10d)のように表現するのが自然である。今回留学生に与えた課題は単一文の作文ということで、その作文が文脈から復元されるべき情報構造を有しているとしたら、その復元されるべき情報の候補の中に単一文としても自然な解釈であるものが含まれているべきである。この場合は、それは仕事をしている者の候補の中に「私」が含まれるような作文をしなければいけないということであり、その意味ではII cの誤りを犯しているのである。ついでながらいうと、復元情報に「私」を含めるためには(10f)のようにいうことも可能であるが、「している仕事」というのはどこかごちなく感じられる。たとえば、(10i)のような表現を使うべきであろう。

#### 4.2 課題表現

表3に課題表現を使った作文ごとに見出された誤りの合計数を示す。

表3 表現別誤り数

表 現	仕事をこなす	～とされてきた	いうまでもない	～だけに
誤 り 数	19	23	17	25
修正誤り数	11	10	6	17

表3の数字に課題表現の相対的難易度を反映させるためには、誤り数から課題表現に関係していない誤り数を差し引かなければならない。課題表現に関係していないと思われる誤りは、表1の誤り類型欄に斜体字で示した。差し引いた結果を表3に修正誤り数として示した。

表3の修正誤り数は、「～だけに」が4表現の中で一番難度が高いことを示している。「～だけに」は「～ので」の意味であるが、「～だけでは」と混同した留学生が多かった。このような形態的に関係があっても意味がかなり異なる表現は、記憶にかかる負荷が大きいので特にむずかしいのではないであろうか。「～だけ」と「～だけに」のような対は、その意味の違いを特に注意して教える必要がある。

「～だけに」と違って「いうまでもない」は意味概念の上からは複雑な表現であるが、4表現中では難度が一番低い。いずれも日本語独特の言い回し表現であるが、「いうまでもない」は、「～だけに」に対する「～だけ」のような記憶を妨げる対表現がないので、それほど難しい表現ではないのであろうと推察される。

「仕事をこなす」と「～とされてきた」の難度は上記2表現の間に位置するが、誤りの類型別頻度とこれらの表現との間の相関関係も調べることができれば、より厳密な表現に関する難度分析ができるかもしれない。今回の調査ではこの相関を調べるにはサンプル数が

少なすぎると思われるので、その分析はしない。

### 4.3 各留学生への日本語指導

大人数クラスの留学生に日本語を教える場合でも、留学生個人個人の日本語能力を的確に把握しておくことがより効率的な日本語教育をする上で必要なことであろう。表4は、各留学生の誤りを、さらに誤り類型上からも区別して整理したものである。このような表を作成しておけば、各留学生の弱点が一目瞭然に分かるので、日本語指導に大いに役立つであろう。ただし、今回の調査では作文量が少なすぎて、表4が各留学生の日本語能力を真に反映したものであるとはいえない。

表4 学生別誤り数

留学生 類型	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
I a	2						1		1	1	1	
I b			2	2	1	1	1	3	1	1		
I c									1			
II a			1			1	1					1
II b	1	1				2	1		1		1	3
II c			1									
計	3	1	4	2	1	4	4	3	4	2	2	4

ワ	カ	ヨ	タ	レ	ソ	ツ	ネ	ナ	ラ	ム	ウ	ノ	オ	ク
	1	2	1			1		1						
	1	2	2	1		3	1	2		1	1	1		3
	1	1		1		1		1			1			
						1				1				
3		3			1		1	1		1	1	2		
							1	2			2			
3	3	8	3	2	1	6	3	7	0	3	5	3	0	3

### 5. 結 論

2節で、日本語表現研究と日本語指導のための基礎資料としての留学生による日本語作文に見られる誤り分析の方法を考察した。収集した資料に基づいて、4節で、日本語表現のサンプル研究を行った。今回の研究で設定した、誤り類型が十分有効なものであることが示されたと思う。しかしながら、単一文による誤り資料収集では、作文量が少なすぎて、

留学生への個別的日本語指導には不十分であることも明らかである。表4をさらに充実させるような誤り分析の方法のさらなる検討が必要である。

#### 参考文献

村田 明 (2001) 「留学生の日本語作文にみられる誤り」、『平成12年度教育改善推進費（学長裁量経費）報告書』、信州大学留学生センター